

# 総 合 研 究 報 告 書

(平成26～28年度)

## 目 次

### I . 総括研究報告

- 急速な病期進行あるいはセロネガティブ感染を伴う新型 HIV の国内感染拡大を  
検知可能なサーベイランスシステム開発研究 -総括研究報告- ..... 1  
川畑拓也 (大阪府立公衆衛生研究所)

### II . 分担研究報告

1. 感染性分子クローンを用いた新型変異 HIV-1 のウイルス学的解析.....15  
村上 努 他 (国立感染症研究所)  
駒野 淳 (国立病院機構名古屋医療センター)
2. 新型変異 HIV-1 感染症例の検討.....25  
小島洋子 他 (大阪府立公衆衛生研究所)
3. 医療機関における新型変異 HIV 検出体制の構築.....35  
渡邊 大 他 (国立病院機構大阪医療センター)
4. 新型変異 HIV 感染者の宿主因子の解析 .....43  
塩田達雄 他 (大阪大学微生物病研究所)
5. 新型変異 HIV の遺伝子解析および分子疫学解析.....49  
森 治代、小島洋子 他 (大阪府立公衆衛生研究所)

6. 通常とは病期進行の異なる HIV を検知するための HIV サーベイランス体制の強化…	59
--	----

川畑拓也 他 (大阪府立公衆衛生研究所)

7. 地域における個別施策層向け HIV 検査体制の強化………	65
---------------------------------	----

川畑拓也 他 (大阪府立公衆衛生研究所)

### Ⅲ. 研究成果の刊行物一覧

研究成果の刊行物一覧………	81
---------------	----